



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社ワンキャリア 上場取引所 東  
 コード番号 4377 URL <https://onecareer.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 宮下 尚之  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 木村 智明 TEL 03 (6416) 4088  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（当社ホームページに決算説明動画を掲載予定）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年12月期第2四半期の業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

#### （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,183	45.2	741	50.9	742	50.5	528	53.3
2022年12月期第2四半期	1,503	46.4	491	46.0	493	49.8	344	54.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	91.74	86.49
2022年12月期第2四半期	59.87	56.94

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	4,150	2,845	68.6
2022年12月期	3,316	2,295	69.2

（参考）自己資本 2023年12月期第2四半期 2,845百万円 2022年12月期 2,295百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,030	41.9	814	31.5	814	30.9	579	30.0	100.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	5,766,000株	2022年12月期	5,760,600株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	126株	2022年12月期	126株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	5,761,966株	2022年12月期2Q	5,760,546株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の分類が2類から5類へ移行し、経済社会活動を後押しする形になりました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化、金融資本市場の変動、物価高騰など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

人材採用領域においては、有効求人倍率（季節調整値）は2023年5月には1.31倍となり、人材需要は継続して堅調な回復を見せております。また新型コロナウイルス感染症の影響で増えたオンラインでの採用活動が、企業の採用プロセスとして定着したことにより、企業の採用DXへの需要は堅調に推移しております。また、大学での授業をオフラインで実施することが基本となり、部活動やサークル活動といった課外活動がコロナ禍前のように活気を取り戻しつつあるなど、大学生を取り巻く環境に変化も起きています。

このような環境の中、当社は積極的な法人向けの広告宣伝活動等で新規取引先との接点を増やし、求人掲載サービスや動画配信サービスの販売に繋がりました。さらに前事業年度からは、ワンキャリアクラウドシリーズのスカウトサービスをリリースし、販売パートナーの募集を開始するなど、新規取引先の開拓に注力しております。

当第2四半期累計期間において会員数は1,490千人（前年同期比297千人増）、法人取引累計社数は2,274社（前年同期比1,018社増）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は2,183,758千円（前年同期比45.2%増）、営業利益は741,374千円（前年同期比50.9%増）、経常利益は742,038千円（前年同期比50.5%増）、四半期純利益は528,628千円（前年同期比53.3%増）となりました。

なお、当社はキャリアデータプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は4,150,287千円となり、前事業年度末に比べ834,076千円増加しました。

流動資産は3,433,507千円となり、前事業年度末に比べ605,907千円の増加となりました。これは主に現金及び預金392,074千円の増加、売掛金178,340千円の増加によるものであります。

固定資産は716,780千円となり、前事業年度末に比べ228,168千円の増加となりました。これは主にソフトウェア開発に伴う無形固定資産72,990千円の増加によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は1,305,004千円となり、前事業年度末に比べ283,794千円増加しました。

流動負債は1,305,004千円となり、前事業年度末に比べ422,638千円増加しました。これは主に契約負債334,339千円の増加、短期借入金100,000千円の増加によるものであります。

なお、第2四半期会計期間末における固定負債はありません。これは返済に伴う長期借入金138,844千円の減少によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は2,845,282千円となり、前事業年度末に比べ550,281千円増加しました。これは主に四半期純利益の計上による利益剰余金528,628千円の増加によるものであります。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べて、392,074千円増加し、3,049,956千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は725,739千円（前年同四半期は468,508千円の収入）となりました。これは主に、売上債権の増加額178,340千円、法人税等の支払額136,472千円があった一方で、税引前四半期純利益742,038千円、契約負債の増加額334,339千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は262,660千円（前年同四半期は54,835千円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出97,869千円、有形固定資産の取得による支出85,487千円、敷金及び保証金の差入による支出75,303千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は71,004千円（前年同四半期は98,264千円の支出）となりました。これは、短期借入れによる収入100,000千円があった一方で、長期借入金の返済による支出171,004千円によるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,657,882	3,049,956
売掛金	110,515	288,856
棚卸資産	921	3,062
その他	58,279	91,631
流動資産合計	2,827,599	3,433,507
固定資産		
有形固定資産	88,624	163,827
無形固定資産	213,582	286,572
投資その他の資産		
敷金及び保証金	125,997	198,998
その他	60,407	67,381
投資その他の資産合計	186,404	266,379
固定資産合計	488,611	716,780
資産合計	3,316,210	4,150,287
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	58,075	56,057
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	32,160	—
未払金	177,736	133,327
未払法人税等	136,472	213,410
契約負債	356,158	690,498
賞与引当金	11,080	5,891
その他	110,682	105,818
流動負債合計	882,365	1,305,004
固定負債		
長期借入金	138,844	—
固定負債合計	138,844	—
負債合計	1,021,209	1,305,004
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	20,814
資本剰余金	1,453,480	1,464,294
利益剰余金	831,880	1,360,509
自己株式	△361	△361
株主資本合計	2,295,000	2,845,256
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	26
評価・換算差額等合計	—	26
純資産合計	2,295,000	2,845,282
負債純資産合計	3,316,210	4,150,287

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,503,611	2,183,758
売上原価	281,344	324,189
売上総利益	1,222,267	1,859,569
販売費及び一般管理費	731,047	1,118,195
営業利益	491,219	741,374
営業外収益		
雑収入	1,973	1,083
その他	321	25
営業外収益合計	2,294	1,108
営業外費用		
支払利息	297	184
投資事業組合運用損	—	205
その他	28	53
営業外費用合計	326	443
経常利益	493,188	742,038
税引前四半期純利益	493,188	742,038
法人税等	148,317	213,410
四半期純利益	344,870	528,628

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	493,188	742,038
減価償却費	19,683	34,933
株式報酬費用	—	4,355
支払利息	297	184
売上債権の増減額 (△は増加)	△133,268	△178,340
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△649	△2,141
仕入債務の増減額 (△は減少)	△15,924	△2,018
契約負債の増減額 (△は減少)	252,712	334,339
未払金の増減額 (△は減少)	△2,379	△44,432
その他	△14,308	△26,451
小計	599,350	862,469
利息及び配当金の受取額	2	0
利息の支払額	△236	△257
法人税等の支払額	△130,607	△136,472
営業活動によるキャッシュ・フロー	468,508	725,739
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,301	△85,487
無形固定資産の取得による支出	△45,035	△97,869
敷金及び保証金の差入による支出	—	△75,303
その他	2,500	△4,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,835	△262,660
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△98,093	△171,004
自己株式の取得による支出	△171	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△98,264	△71,004
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	315,408	392,074
現金及び現金同等物の期首残高	2,231,429	2,657,882
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,546,837	3,049,956

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年5月12日付で譲渡制限付株式報酬としての新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ10,813千円増加しております。これにより、当第2四半期会計期間末において、資本金が20,814千円、資本剰余金が1,464,294千円となっております。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準の適用が四半期財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、キャリアデータプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。